

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : プロコンガードS  
SDS 整理番号 : prkgds2022  
供給者の会社名称 : 福徳技研株式会社  
住 所 : 〒730-0053 広島市中区東千田町 2-3-26  
担当部門 : マテリアルグループ  
電話番号 : 082-243-5535  
FAX 番号 : 082-243-6444  
推奨用途及び使用上の制限 : 本製品は、建築・土木用樹脂（業務用）である。  
その用途以外へ使用しないこと。

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性



引火性液体 : 区分 3

健康有害性

発がん性 : 区分 1 A

生殖毒性 : 区分 1 A

GHS ラベル要素

シンボル :  

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 引火性液体および蒸気  
発がんのおそれ  
生殖能または胎児への悪影響のおそれ

注意書き

安全対策 : 熱、高温表面、火花、裸火およびその他の発火源から遠ざける。禁煙。  
容器を設置すること／アースをとること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
保護手袋/ 保護眼鏡/ 保護面を着用すること。  
使用前に取扱説明書を入手すること。  
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

応急措置 : 皮膚(または髪)にかかった場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
ばく露またはばく露の懸念がある場合 : 医師の診断/ 手当てを受けること。  
火災の場合、消火に粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、炭酸ガスを使用すること。

- 保 管 : 容器を密閉しておくこと。換気の良い冷暗所で施錠して保管すること。
- 廃 棄 : 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名	含有量 (wt%)	化 学 式	官報公示整理番号 (化審法、安衛法)	CAS No.
オルガノシラン、シリコーン	94	社外秘	登録済	非公開
エタノール	0.9~1.7	C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> OH	2-202	64-17-5
イソプロパノール	0.1	C <sub>3</sub> H <sub>8</sub> O	2-207	67-63-0
その他	4~9	社外秘	登録済	非公開

### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水および石鹸で優しく洗うこと。  
汚染された衣類、靴などは速やかに脱ぐこと。  
皮膚刺激が生じた場合および気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
直ちに、医師の診断、手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 意識がある場合は、多量の水を少しずつ飲ませる。  
直ちに、医師の診断、手当を受けること。
- 医師に対する特別注意事項 : 医師に暴露物質名を通知する。

### 5. 火災時の措置

- 消 火 剤 : 粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤、炭酸ガス
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水は、火災を拡大させるおそれがある。
- 火災時の特有の危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素、二酸化炭素等が含まれる。
- 特有の消火方法 : 初期の火災には、粉末消火剤、二酸化炭素、一般の泡消火剤を用いる。  
大規模火災の場合には、散水、水噴霧または一般の泡消火剤を用いる。  
危険でなければ、容器を火災区域から移動する。

## 安全データシート

---

消火を行う者の保護 : 消火作業の際には、有害なガスを吸い込まないように自給式呼吸器等の保護具を着用し、風上から消火作業を行う。

---

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 作業の際は、必ず保護具（保護眼鏡・保護マスク・保護衣・ゴム製保護手袋）を着用し、作業する。

保護具を着用していないときは、破損した容器あるいは漏出物に触れないこと。

環境に対する注意事項

: 漏出物が排水溝、下水溝、河川、海洋などに流出しないように注意する。

回収、中和

: 少量の場合、乾燥砂等の不燃性物質、おがくず、ウエス等で拭き取り密閉できる容器に回収する。

多量の場合は、盛り土で囲って流出を防止し、密閉できる容器に回収する。乾燥砂等の不燃性物質、おがくず、ウエス等で拭き取り密閉できる容器に回収する。

封じ込め及び浄化の方法・機材 : 危険でなければ、漏れを止める。

二次災害の防止策

: 付近の着火源を速やかに取り除き、着火した場合に備え消火器を準備する。

河川、下水、排水路等へ流出した場合、直ちに地方自治体の関係先に連絡する。

---

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: 取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体を洗浄できる設備を設置する。

製品取扱時には、漏れ、あふれ、飛散等が起きないようにし、みだりに蒸気等を発生させない。

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

屋外での取扱時は、風上から作業する。

保護具を着用し、換気の良い場所で取り扱う。

局所排気・全体換気

: 屋内で使用する場合、全体換気または局所排気装置を設置し、蒸気・ミストの吸い込みを防止する。

注意事項

: 吸い込み及び眼、皮膚に触れないように、適切な保護具を着用する。

安全取扱い注意事項

: 容器をみだりに転倒させ、衝撃を加え、または引きずる等の乱暴な取扱いをしないこと。

接触回避

: 熱、火花、裸火、高温、酸・アルカリ性物質のものから遠ざけること。

保管

技術的対策

: 熱、火花、裸火、高温のものから遠ざけること。

混触禁止物質

: 酸、アルカリ性物質と一緒に保管しない。

---

- 適切な保管条件 : 直射日光を避け、通気の良い冷暗所（0℃以上）で、施錠して保管すること。  
 付近に火気、熱源となるものを近づけないこと。
- 安全な容器包装材料 : 製品の保管は確実に蓋をし、製品包装形態で保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理濃度、許容濃度

	管理濃度	許容濃度 (日本産業衛生学会 2020年版)	許容濃度 (ACGIH 2020年版)
エタノール	未設定	未設定	TWA -, STEL 1000 ppm
イソプロパノール	200ppm	400 ppm (980mg/m3) (最大許容濃度)	TWA 200 ppm, STEL 400 ppm

設備対策 : 密閉空間での使用時は、排気設備（局所排気装置）の設置。  
 安全シャワー、アイシャワーの設置。

### 保護具

- 呼吸器の保護具 : 防塵マスク、簡易防塵マスク、防毒マスク（有機ガス用）
- 手の保護具 : 不浸透性保護手袋、
- 目の保護具 : 保護眼鏡（側板付普通眼鏡型、ゴーグル型）
- 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣、保護前掛け及び保護長靴

衛生対策 : 作業中は、飲食・喫煙をしないこと。  
 取扱い後は、よく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 外観

- 物理的状态 : 液状
- 色 : 白色、半透明
- 臭い : 微臭気あり
- pH : データなし
- 融点・凝固点 : 情報なし
- 沸点、初留点及び沸騰範囲 : 情報なし
- 引火点 : 40℃ (JIS K2265-1:タテ密閉式)
- 燃焼または爆発限界
- 下限 : 情報なし
- 上限 : 情報なし
- 蒸気圧 : 情報なし
- 蒸気密度 : 情報なし
- 比重 : 情報なし
- 溶解度

---

水	: 難溶
その他の溶媒	: 情報なし
n-オクタノール／水分配係数	: 情報なし
自然発火温度	: > 200℃
分解温度	: 情報なし
臭いのしきい(閾)値	: 情報なし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	: 情報なし
燃焼性(固体、ガス)	: 情報なし

---

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 密閉状態で、冷暗所では安定。
危険有害反応可能性	: 可燃性のオルガノシランを含有しており、水と酸の存在下で、ゆっくりとエタノールを生成する。
避けるべき条件	: 高温状態及び直射日光条件下での保管。
混触危険物質	: 酸、アルカリ性物質
危険有害な分解生成物	: 熱分解や燃焼時に一酸化炭素、二酸化炭素等の有害性ガスや蒸気が発生する。約150℃以上で酸化分解により少量のホルムアルデヒドを発生する恐れがある。

---

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 本製品として試験データなし
急性毒性(経皮)	: 本製品として試験データなし
急性毒性(吸入: ガス)	: 該当せず
急性毒性(吸入: 蒸気)	: 本製品として試験データなし
急性毒性(吸入: 粉塵、ミスト)	: 本製品として試験データなし
皮膚腐食性/刺激性	: 本製品として試験データなし
目に対する重篤な損傷性/目刺激性	: 本製品として試験データなし
呼吸器感作性	: 本製品として試験データなし
皮膚感作性	: 本製品として試験データなし
生殖細胞変異原性	: 本製品として試験データなし
発がん性	: 本製品として試験データなし
生殖毒性	: 本製品として試験データなし
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	: 本製品として試験データなし
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: 本製品として試験データなし
吸引性呼吸器有害性	: 本製品として試験データなし
その他	: 成分として含まれるエタノールはあらゆるばく露経路において良好かつ迅速に吸収される。エタノールは眼や粘膜を刺激したり、中枢神経系に支障をきたしたり、吐き気やめまいを起こすことがある。大量エタノールへの慢性ばく

---

---

露は肝臓や中枢神経系の損傷をもたらすことがある。

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性	
魚	: 情報なし
甲殻類	: 情報なし
藻類	: 情報なし
残留性／分解性	: シリコン分の生分解性は低い。加水分解生成物のエタノールは生分解しやすい。
生体蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし
その他	: 情報なし

---

## 13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 特別管理産業廃棄物に該当するため、内容物や容器を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従って、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
- 汚染容器及び包装 : 空容器類を廃棄する場合は、内容物を完全に除去してから廃棄すること。容器等を洗浄した溶剤等は、地面や排水溝等に流さないこと。

---

## 14. 輸送上の注意

- 国際規制
- |        |                              |
|--------|------------------------------|
| 国連番号   | : 1993                       |
| 品名     | : FLAMMABLE LIQUID, N. O. S. |
| 国連分類   | : クラス 3                      |
| 容器等級   | : III                        |
| 海洋汚染物質 | : 該当なし                       |
- 国内規制
- 海上規制情報 : 危険物船舶運送及び貯蔵規則に定められている運送方法に従う。
- 航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
- 陸上規制情報 : 消防法および道路法等に定められている運送方法に従う。
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 積み下ろしの際には、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止させ車止めを施し、作業する。容器に漏れ、破損の無いことを確かめ転倒・落下・損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- 緊急時応急措置指針番号 : 128

---

## 15. 適用法令

---

## 安全データシート

---

製 品	: 消防法 危険物 第四類 第二石油類
	: P R T R 法 非該当
	: 労働安全衛生法 施行令別表第 1 危険物 非該当
	施行令第 1 8 条 (名称を表示すべき有害物) エタノール
	第 5 7 条の 2 (通知対象物質) エタノール (政令番号第 61 号)
	有機溶剤中毒予防規則 非該当
	: 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 特別管理産業廃棄物
	: 毒物および劇物取締法 非該当
	: 悪臭防止法 非該当

---

### 16. その他の情報

本安全データシート (SDS) は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。

本製品を推奨用途以外に使用したい場合は、仕様が用途に合致しない場合がありますので事前に弊社へ相談して下さい。

また、当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

#### 引用文献

- 1) 日本産業衛生学会 産業衛生学雑誌 (産衛誌 51 巻, 2015)
  - 2) ACGIH(The American Conference of Governmental Industrial Hygienists) (2015)
-